



# 2022年3月期第2四半期 決算説明会

「真のグローバルサプライヤーとして  
社会から必要とされる企業」をめざして

2021年11月12日

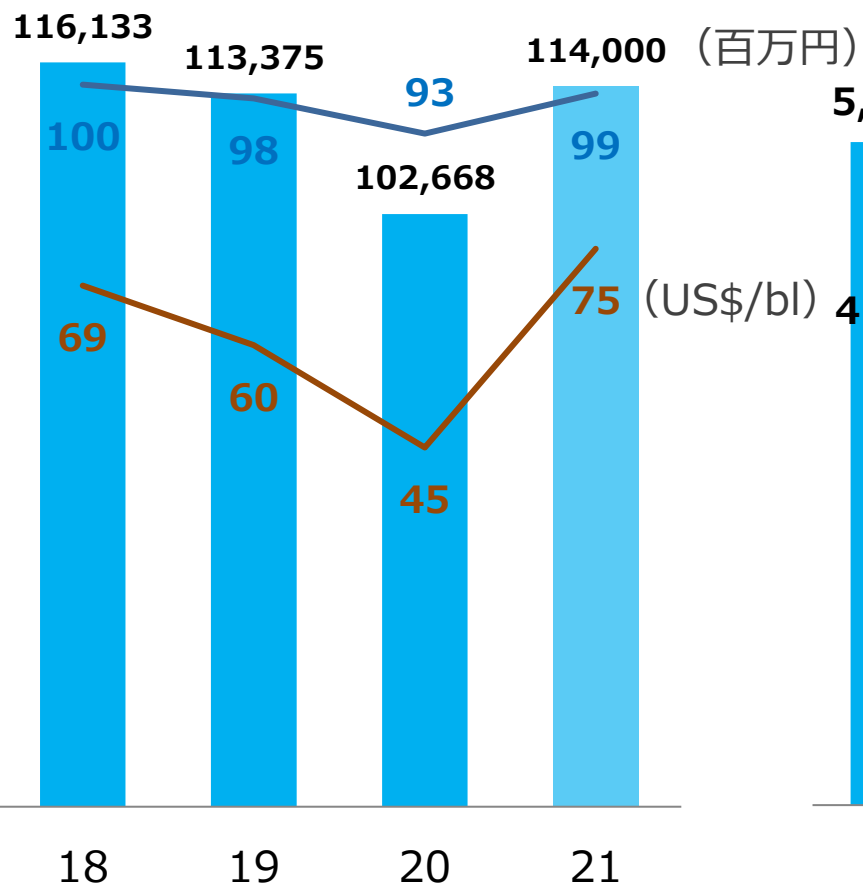
株式会社 JSP

- 1. 2022年3月期第2四半期決算概要（2021年度上期）**
2. 2022年3月期第2四半期決算補足（2021年度上期補足）
3. 2022年3月期決算見通し（2021年度見通し）
4. ピーブロック/ARPROの販売拡大

# 業績ハイライト

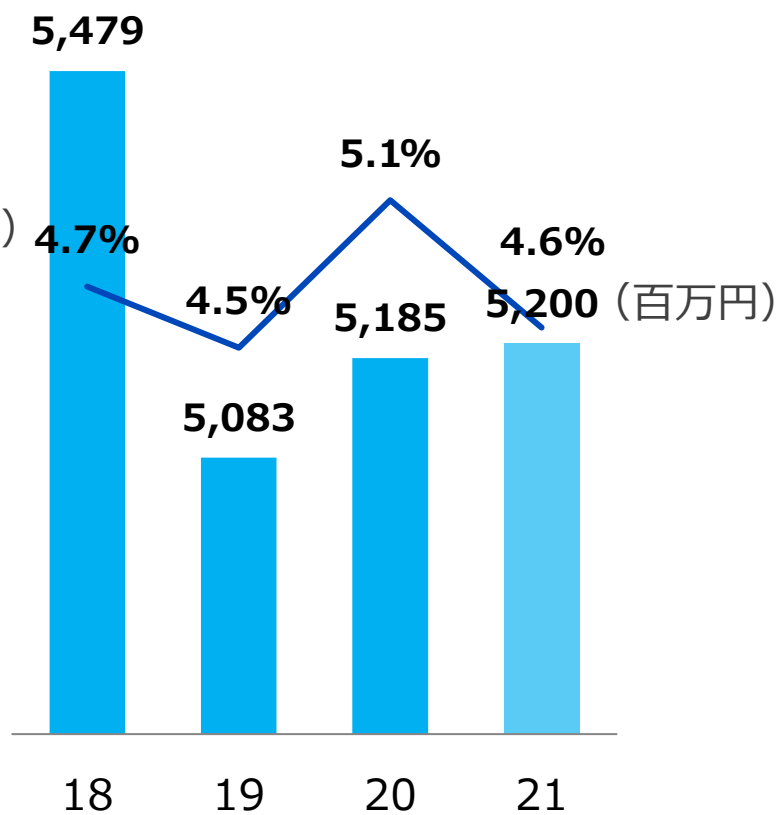
## Growth

売上高・販売数量



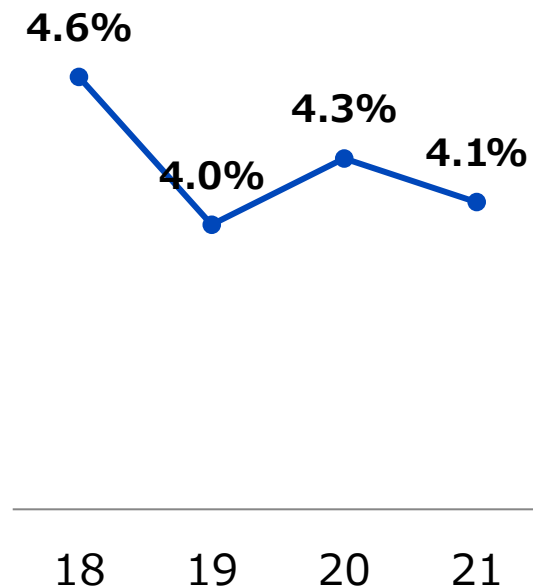
## Margin

営業利益・営業利益率



## Return

総資産経常利益率



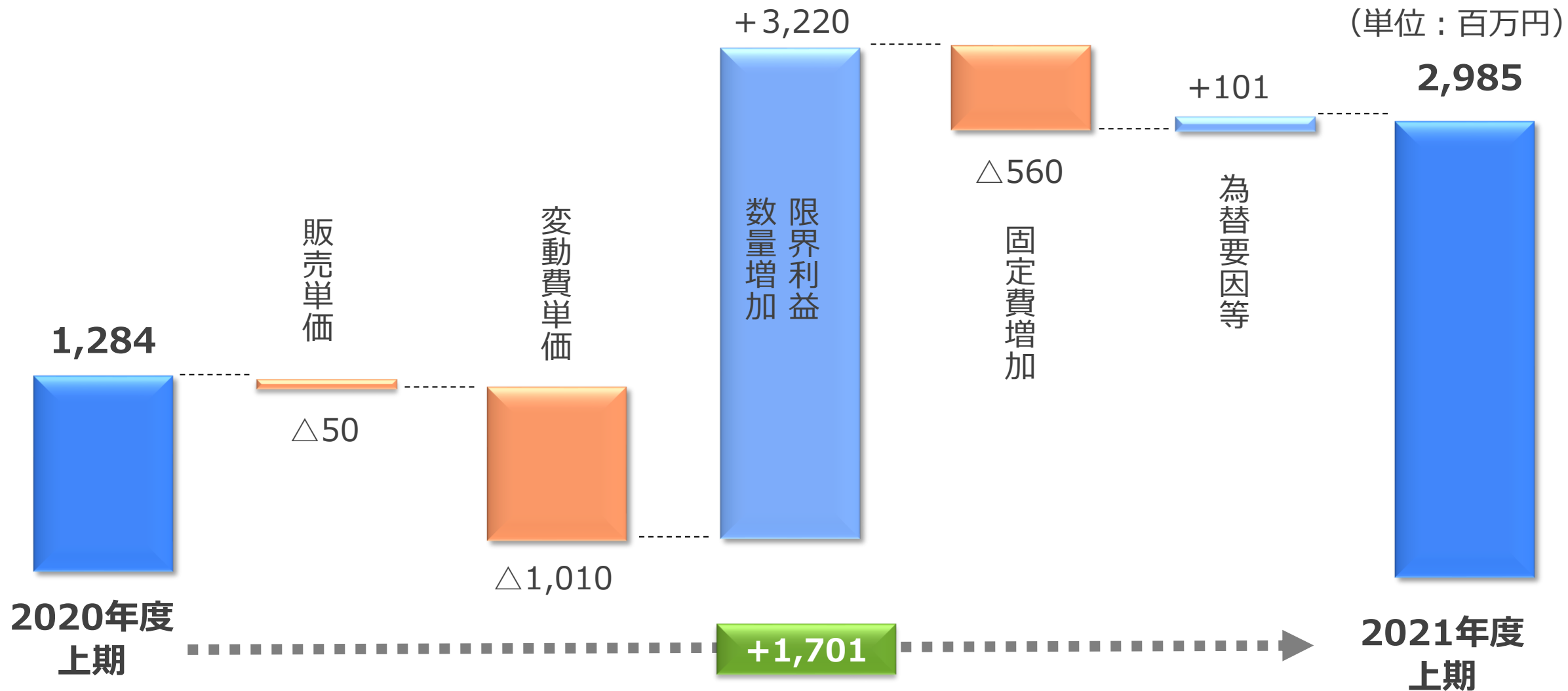
## 決算概況

項目 (単位：百万円)	2020年度上期 実績	2021年度上期 公表 (2021/7/30)	2021年度上期 実績	前年 同期比	公表比
売上高	48,080	55,500	55,673	+15.8%	+0.3%
営業利益	1,284	2,800	2,985	+132.5%	+6.6%
経常利益	1,268	2,900	3,081	+143.0%	+6.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	908	1,900	2,280	+151.1%	+20.0%

	2020年度 上期	2021年度 上期
ドバイ原油 (US\$/b1)	37.1	69.2
為替(円/US\$)	108.2	108.5
為替(円/€)	119.4	130.5

- 世界経済：経済活動が段階的に緩和され、個人消費を中心に回復基調。新型コロナウイルス変異株による再拡大や半導体などの部品供給不足により、先行き不透明。
- 日本経済は、外需回復などにより、生産や輸出が持ち直し。緊急事態宣言の再発出やサプライチェーンにおける遅延の影響などにより、依然として厳しい状況。
- 売上高：高付加価値製品の販売増加や緩やかな需要回復などから、前年同期比15.8%増。
- 営業利益：原料価格高騰の影響はありましたが、販売増加などから同132.5%増。3

# 営業利益の増減要因



利益差異は、2020年度実績の為替レートを用いて計算

## 押出事業

項目 (単位：百万円)	2020年度上期 実績	2021年度上期 実績	前年同期比
売上高	18,339	18,829	+2.7%
営業利益	1,060	1,470	+38.7%

高付加価値製品の販売増加、需要回復により売上増、販売増加などのより増益

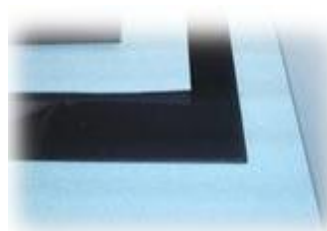
### 食品包材・容器



「スチレンペーパー」  
「ミラボード」

- 食品トレー向け分野は巣ごもり需要が継続しているものの、前年同期の一時的な急増からは減少
- 広告宣伝用ディスプレイ材の販売増加
- 売上は減少

### 産業用包装材



「ミラマット」  
「キャプロン」  
「Pボード」

- 高付加価値製品の販売は大幅に増加
- 汎用製品の販売も増加
- 売上は増加

### 住宅用断熱材・土木資材



「ミラフォーム」

- 建築分野向けの販売は増加
- 土木分野向けの販売は減少
- 売上は前年同期並み

# ビーズ事業

項目 (単位：百万円)	2020年度上期 実績	2021年度上期 実績	前年同期比
売上高	27,440	33,806	+23.2%
営業利益	716	1,952	+172.4%

自動車分野などでの需要回復などにより売上増、販売増加などにより増益

## 自動車部品・家電緩衝材・グラウンド基礎材



「ピーブロック」  
英名「ARPRO」  
「エレンポールNEO」



- 新型コロナウイルス感染症の再拡大による活動制限や半導体などの部品供給不足の影響はありましたが、需要の回復や自動車の新規部品の採用拡大などにより、販売数量及び売上は増加。
- 北米では自動車メーカーの生産調整や原料価格高騰の影響があり緩やかな増加。欧州では、自動車・非自動車分野ともに好調。

## 発泡性ポリスチレン・ハイブリッド成形品



「スチロディア」  
「ヒートポールGR」  
「クリアポール」  
「FOAMCORE」

- 「スチロディア」 水産・農業分野での需要が堅調に推移したことなどにより売上は増加。原料価格高騰による影響が大きく、製品価格改定中。
- 「FOAMCORE」 需要の回復などにより売上は増加。

その他

項目 (単位：百万円)	2020年度上期 実績	2021年度上期 実績	前年同期比
売上高	2,300	3,037	+32.0%
営業利益	1	62	---

国内・中国共に、需要回復

国内一般包材

- 自動車部品輸送関連等の販売が回復



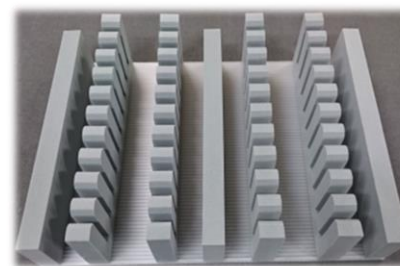
自動車部品トレー



情報家電緩衝材

中国一般包材

- 各種部品関連の需要が好調に推移



自動車部品搬送材



光学部品緩衝材



1. 2022年3月期第2四半期決算概要（2021年度上期）
- 2. 2022年3月期第2四半期決算補足（2021年度上期補足）**
3. 2022年3月期決算見通し（2021年度見通し）
4. ピーブロック/ARPROの販売拡大

## 経営成績

年度 (単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益
2021年度上期	55,673 (15.8%)	2,985 (132.5%)	3,081 (142.8%)	2,280 (151.0%)
2020年度上期	48,080 (△14.6%)	1,284 (△48.1%)	1,268 (△48.7%)	908 (△52.6%)

包括利益 : 2021年度上期 4,608百万円      2020年度上期 △514百万円

年度	1株当たり 四半期純利益	売上利益 高率
2021年度上期	76円49銭	5.4%
2020年度上期	30円47銭	2.7%

【主要な日本円への換算レート（1～6月）】

通貨	US\$	€	RMB
2021年度 上期	108.47	130.48	16.75
2020年度 上期	108.24	119.42	15.31
前期比	100.2%	109.3%	109.4%

## 営業外損益・特別損益

### 営業外損益

科目 (単位：百万円)	2020年度 上期	2021年度 上期
受取利息	88	71
補助金	97	22
その他	109	130
営業外収益合計	295	224
支払利息	91	54
為替差損	167	—
操業準備費用	—	35
その他	52	38
営業外費用合計	311	128

### 特別損益

科目 (単位：百万円)	2020年度 上期	2021年度 上期
固定資産売却益	4	17
特別利益合計	4	17
固定資産売却損	3	34
固定資産除却損	34	34
火災による損失	—	129
特別損失合計	38	199

## 財政状態

年度 (単位：百万円)	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株 当 た り 純 資 産
2021年9月末	132,678	89,752	64.4%	2,864円61銭
2021年3月末	129,053	85,561	63.9%	2,767円26銭

(参考) 自己資本  
 2021年9月末 85,389百万円  
 2021年3月末 82,488百万円

### 【主要な日本円への換算レート】

通貨	US\$	€	RMB
2021年6月末	110.60	131.61	17.10
2020年12月末	103.48	126.97	15.87
前期比	106.9%	103.7%	107.8%

## 貸借対照表

科目 (単位：百万円)		2021年3月末	2021年9月末	増減額
資産の部	流動資産	62,456	65,631	3,175
	固定資産	66,597	67,046	449
資産合計		129,053	132,678	3,625
負債の部	流動負債	31,275	31,565	289
	固定負債	12,216	11,361	△855
	負債合計	43,492	42,926	△565
純資産の部	株主資本	85,191	85,857	665
	その他包括利益累計額	△2,703	△467	2,235
	非支配株主持分	3,072	4,362	1,289
	純資産合計	85,561	89,752	4,190
負債純資産合計		129,053	132,678	3,625

## 純資産の部

科目 (単位：百万円)		2021年3月末	2021年9月末	増減額
株主資本	資本金	10,128	10,128	—
	資本剰余金	13,405	13,405	—
	利益剰余金	63,045	63,711	666
	自己株式	△1,387	△1,388	△0
	合計	85,191	85,857	665
その他の包括 利益累計額	その他有価証券評価差額金	527	437	△90
	為替換算調整勘定	△4,182	△1,842	2,340
	退職給付に係る調整累計額	952	937	△14
	合計	△2,703	△467	2,235
非支配株主持分		3,072	4,362	1,289
純資産合計		85,561	89,752	4,190

# キャッシュフロー・設備投資額・減価償却費・研究開発費

## キャッシュフロー

年度 (単位：百万円)	営業活動による キャッシュフロー	投資活動による キャッシュフロー	財務活動による キャッシュフロー	現金及び現金 同等物の残高
2021年度上期	2,634	△2,800	△1,570	11,032
2020年度上期	6,215	△2,245	831	11,991

## 設備投資額・減価償却費・研究開発費

年度 (単位：百万円)	設備投資額	減価償却費	研究開発費
2021年度上期	2,654	3,273	1,073
2020年度上期	2,728	3,190	1,065

(注) 設備投資額はキャッシュベースであります。

## 目次

1. 2022年3月期第2四半期決算概要（2021年度上期）
2. 2022年3月期第2四半期決算補足（2021年度上期補足）
- 3. 2022年3月期決算見通し（2021年度見通し）**
4. ピーブロック/ARPROの販売拡大



## 決算概況

項目 (単位：百万円)	2020年度	2021年度			前年比
	通期実績	上期実績	下期見通し	通期見通し (公表値)	
売上高	102,668	55,673	58,327	114,000	+11.0%
営業利益	5,185	2,985	2,215	5,200	+0.3%
経常利益	5,519	3,081	2,319	5,400	△2.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,017	2,280	1,320	3,600	+19.3%

		上期	下期	通期 見通し
ドバイ原油 (US\$/bl)	4-3月	69.2	80	75
為替 (円 / US\$)	1-12月	108.5	112	110
為替 (円 / €)	1-12月	130.5	131	131

- 世界経済の見通し：新型コロナウイルスワクチン接種の進展により回復局面に入る見通し。産業資材分野を中心に需要が拡大すると予測。半導体などの部品供給不足による自動車生産台数の減少は、世界的に拡大。
- 配当：1株当たりの配当金（予想）年間 50円  
(中間25円、期末25円（予想）)

## 押出事業

項目 (単位：百万円)	2020年度	2021年度			前年比
	通期実績	上期実績	下期見通し	通期見通し	
売上高	37,595	18,829	20,571	39,400	+4.8%
営業利益	2,576	1,470	1,430	2,900	+12.6%

### 販売数量の回復と高付加価値製品の販売好調で増収増益

#### 食品包材・容器



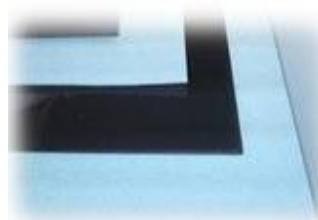
「耐熱PSP」



「ミラボード」

- 食品包材の販売は、前期の一時的な急増からは減少する見込み
- 広告宣伝用ディスプレイ材は、展示会等の再開により増加する見込み

#### 産業用包装材



「ミラマット」  
「キャプロン」  
「Pボード」

- 高付加価値製品の販売は、引き続き好調に推移する見込み。

#### 住宅用断熱材・土木資材



「ミラフォーム」



「Jウォールブロック」

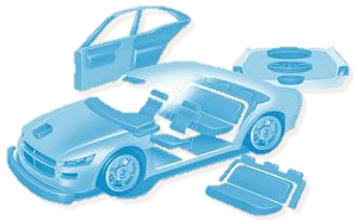
- ウッドショックの影響は軽微
- 販売は前期並みの見通し

## ビーズ事業

項目 (単位：百万円)	2020年度	2021年度		前年比	
	通期実績	上期実績	下期見通し		通期見通し
売上高	59,893	33,806	34,794	68,600	+14.5%
営業利益	3,550	1,952	1,348	3,300	△7.0%

販売数量回復と価格修正により増収、原料高の影響が大きく減益

### 自動車部品・家電緩衝材・スポーツシューズ



「ピーブロック」



「エレンポールNEO」

- 販売は、コロナ禍からの回復により各地域ともに前期を大きく上回る見込み
- 原料高の影響が出ており、スプレッドは縮小している。利益は前年を上回る見込み

### 発泡性ポリスチレン・ハイブリッド成形品



「スチロダイア」



「クリアポール」



「ヒートポールGR」

- 「スチロダイア」等の発泡性ビーズ製品の売上高は、販売価格の修正により前年を上回る見込み
- スチレンモノマーの原料高の影響が大きく利益減少

## 目次

1. 2022年3月期第2四半期決算概要（2021年度上期）
2. 2022年3月期第2四半期決算補足（2021年度上期補足）
3. 2022年3月期決算見通し（2021年度見通し）
- 4. ピーブロック/ARPROの販売拡大**

## ピーブロック販売拡大（中国）①

### EV用バッテリー梱包材に採用されています

- ◆ CATLバッテリーの欧州輸出向け包装に、ピーブロックが採用されました。
- ◆ 最初にPSAで採用されて以来、現在はBMW、フォルクスワーゲン、ベンツで採用されています。



CATL社 (Contemporary Amperex Technology Co., Ltd.)  
寧徳時代新能源科技股份有限公司

## ピーブロック販売拡大（中国）②

### EV用バッテリー梱包材に採用されています

- ◆ 大連松下汽车能源有限公司は、日本向け輸出や中国自動車メーカー向けに販売するバッテリーの梱包材として、ピーブロックを採用しています。
- ◆ EV車拡販により、今後の販売量が更に増えると見込まれています。



バッテリーを入れて梱包状態



EPP箱をインジェクション箱に入れる

## ピーブロック販売拡大（中国）③

### 住宅の空気清浄機システムに採用されています

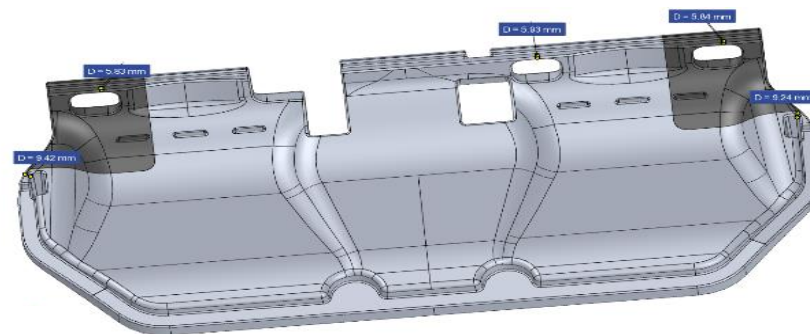
- ◆ 中国では、住宅用空気清浄システムの構造部材としてピーブロックが採用されました。
- ◆ 軽量性や組立簡易性のメリットがあり、今後市場の拡大が見込まれています。



写真は組立後の様子です

## ARPRO新規採用情報（欧州）

### フォルクスワーゲンのSUVにリアシート採用



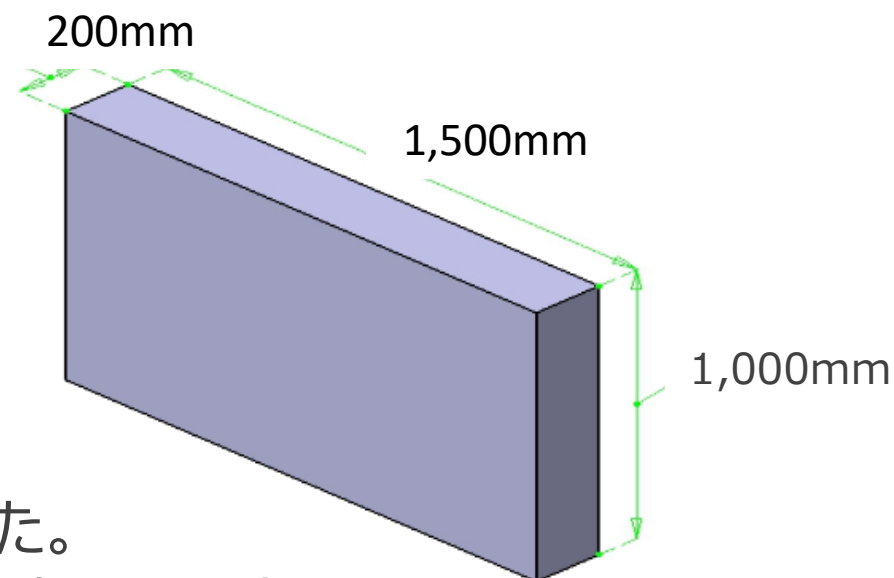
- ◆ 世界中で売り上げが拡大しているSUVですが、フォルクスワーゲンのSUVのリアシートにもARPRO※が採用になりました。
- ◆ 小型SUV「T-Cross」は非常に人気が高く、売り上げ台数も多い車種です。
- ◆ 軽量化メリットの高いARPROのリアシートは引き続き世界各地で採用が拡大しています。

※ARPROは、ピーブロックの欧米での登録商標です



## ARPRO新規採用情報（ブラジル）

## 水力発電設備にARPROが採用



- ◆ ブラジルの水力発電設備にARPROが採用されました。
- ◆ 発電機の発熱を遮断するための断熱材として使用されています。
- ◆ ARPROのリサイクル性が評価され、他素材から切り替えることが出来ました。

※ARPROは、ピーブロックの欧米での登録商標です

## ピーブロック/ARPRO リサイクル拡大（欧州、北米）

### リサイクル原料を使用したARPRO、欧州に続き北米でも展開

- ◆ 欧州では、2019年からリサイクル原料を使用したARPRO REの採用が始まりました。
- ◆ その流れを拡大し、北米でもリサイクル原料を使用したARPRO RCの生産を開始。
- ◆ 今後も、地球温暖化対策に貢献できるリサイクル原料を用いた製品のラインナップを全世界で拡大します。



製品ライフを終了した  
EPP製ダネジトレ



インゴット



リペレット

リサイクル原料を用いたARPROの生産プロセス

※ARPROは、ピーブロックの欧米での登録商標です



# 質疑応答

ご質問のある方は、チャット機能を使って、「はい」を入力してください。  
事務局で指名し、ミュートを解除します。